

国東 鬼城 西側岩稜ルート

日 時：令和5年〔2023年〕4月23日

参加者：中山正浩・土橋誠・岡村繁雄

行動時間：5時間

国東半島の岩稜歩き、4月2日の夷耶馬 清水畑岩稜ルートに続く第二弾。

並石ダム、奥の駐車スペースに駐車して〔8:45〕出発。

他の山行報告を見ると〔地籍図根三角点 R11〕の標識経由で縦走していることもあり、我々も一般道の分岐から谷を十数分入ったところから左の尾根に向かって上がり込んだ。



並石ダムの奥の駐車スペース



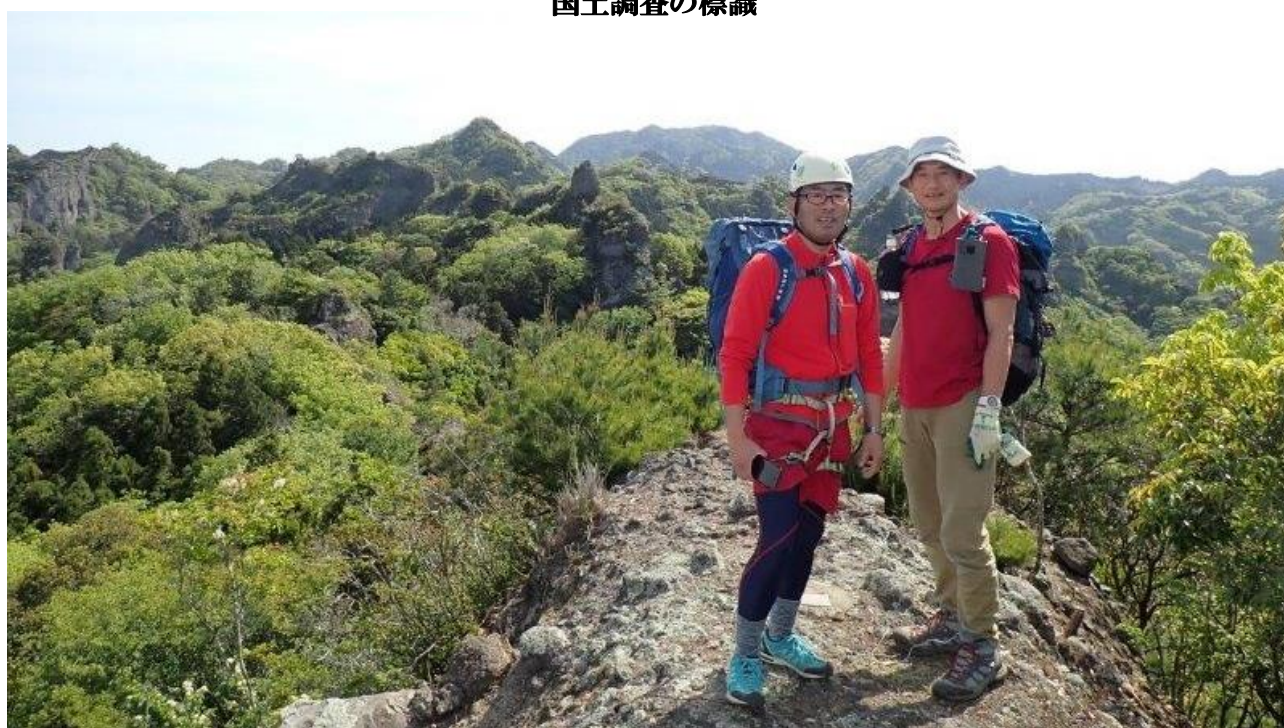
谷から左の尾根に向かう〔9:06〕



この岩稜を登った先に国土調査の標識がある〔9:13〕



国土調査の標識



足元に国土調査の標識〔後方 今回の岩稜ルートと鬼城のピークを望む〕[9:24]

このピークから一旦下って、次の岩稜の右側をトラバースして、次の岩稜に上がり込んだ。



北西方向の眺望



岩稜ルートと鬼城（中央）のピークを望む〔望遠〕

今回は、結果的に岩稜の左を巻いてしまい、岩峰〔望遠写真の右〕を交わしたため通過できなかった。



国土調査の標識のピークより下降〔9:27〕



次の岩稜へ右側をトラバース〔9:40〕



次の岩稜に登り上る [9:45]

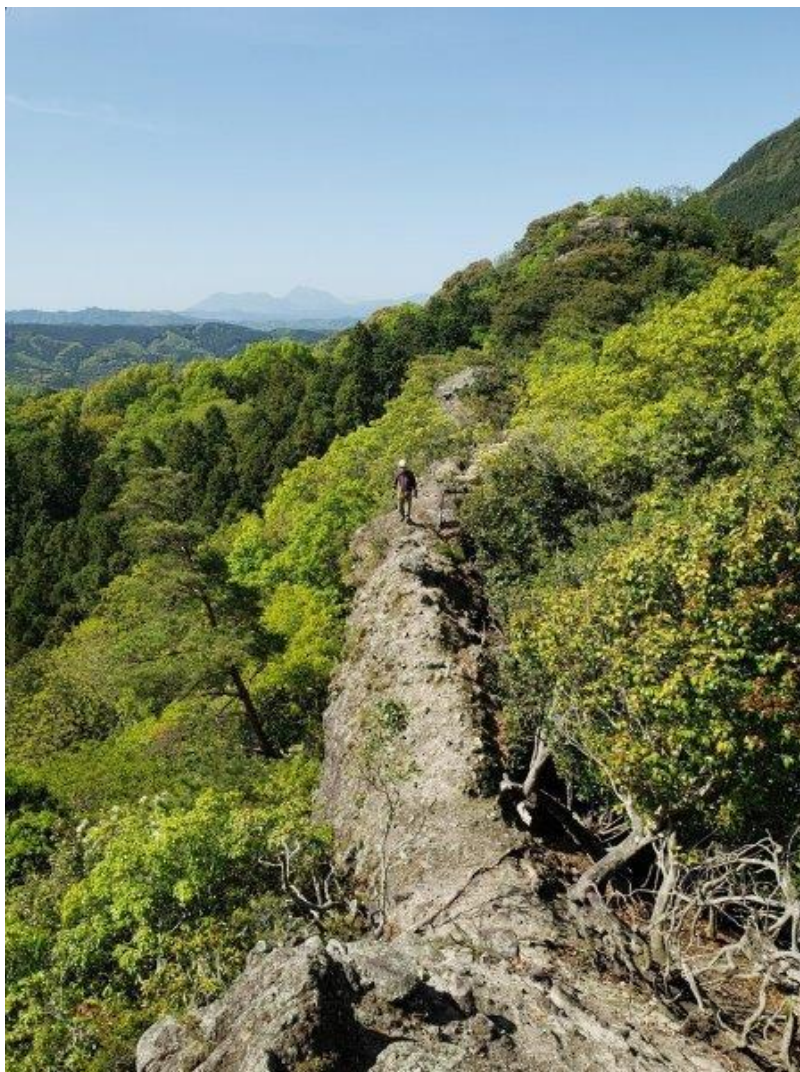


並石ダムを望む



快適な岩稜歩き [9:46]

後方 由布岳・鶴見岳を望む





大きな根っこの横を通過 [9:54]



この先のテープの向こう側に洞窟 [9:57]



岩稜下部の洞窟の入口をへつる



洞窟に到着 [10:03]

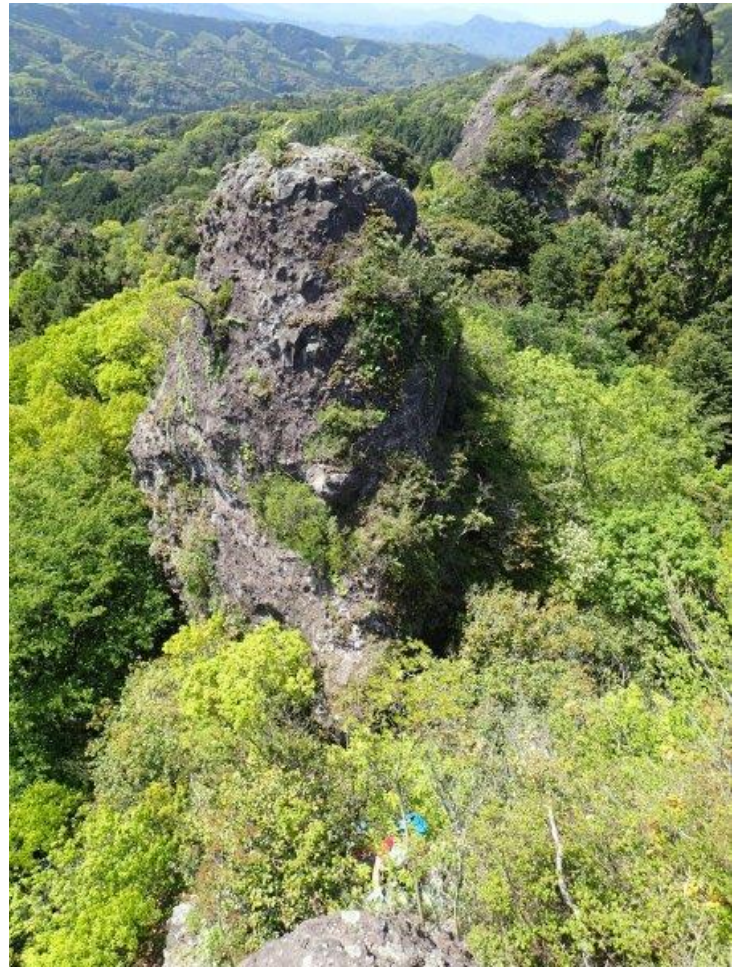


この洞窟の先は、行き止まりになっていた。

洞窟に回り込む前の岩稜にハーケンが確認できたが、そこは登らず左側下部をトラバース、迂回し稜線の岩峰に登り上るルートを取った。他の山行報告を見ると岩峰を直登した先に岩峰があり、その後に懸垂することも可能であるようで、次回来る機会があればトライしたい。



この二つの岩峰のピークは、通過しなかった



傾斜はあるがホールド・スタンスも豊富にある [10:44]



[10:49]



[10:51]



[10:56]



岩の上にリングボルト [11:03]



リングボルトにザイルをかけてクライミングダウン [11:05]

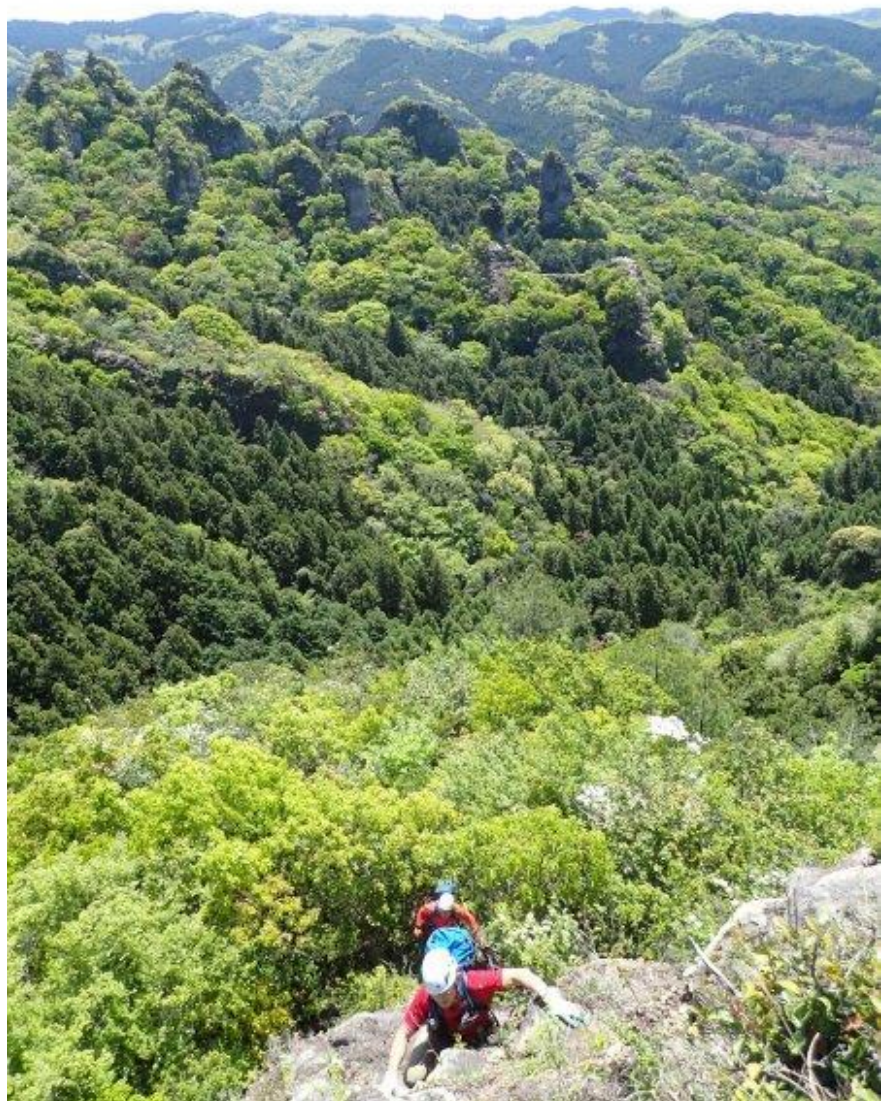


[11:10]



[11:16]

一旦、稜線から右側をトラバース
気味に回り込んで、登り上った
[11:24]





[11:26]



[11:27]



【11:34】



【11:40】



最終版の岩稜の登り 【11:45】



所々に国土調査のピンが確認できた 【11:48】



一般道のコルに合流 【11:55】



鬼城 山頂 [12:18]

枝尾根の岩峰があるため鬼城へ向かう岩峰を確認しながら進む、ザイルは数メートルのクライミングダウンに1回使用しただけだが、クライミング要素も多く、難度は前回行った国東 夷耶馬 清水畑岩稜ルートに比べ高いと感じた。

岩峰を登るか迂回するかルートファイティングを試行錯誤しながら進んだ。洞窟後の岩峰を巻いた箇所では、岩稜の右側が切れているため左側下部をトラバースして迂回し稜線の岩峰に登り上るルートを取ったものの、他の山行報告を確認すると岩峰を直登して懸垂することも可能であったようだ。所々ブッシュに阻まれ、すっきりしない箇所もあったが、国東独特の変化にとんだ岩稜ルートを楽しむことが出来た。



北九州山岳同好会「嵐」

Reported by S.Okamura

Photo presented by M.Dobashi & S.Okamura